

平成23年度 土木部 9月補正要求概要

平成23年9月9日
福島県土木部

補正予算の概要

- 1 東日本大震災により被害を受けた公共土木施設等の災害復旧や、放射能対策等に必要な経費の増額補正を行います。
- 2 当初予算の事業見直し及び国交付金事業等の内示差に係る補正を行います。

補正予算の規模

○平成23年度9月補正 土木部予算

一般会計 23億5,563万円

●災害復旧・放射能対策等 58億8,811万円

●事業見直し・国交付金内示差等 Δ35億3,248万円

特別会計 44億8,145万円

(港湾設備の復旧対策、下水道汚泥の放射能対策等)

主な事業内容

災害復旧・放射能対策等に必要な経費

◆被災者の生活再建に向けた住まいづくりの支援	1,200万円	P.1
◆被災地の復興に向けた防災緑地計画のガイドラインの策定	900万円	P.2
◆東日本大震災による被災箇所の災害復旧		
・小名浜港・相馬港における港湾施設(上屋等)の災害復旧 (港湾特別会計)	17億4,200万円	P.3
・漁港施設(野積場等)や、漁港環境施設(駐車場等)の災害復旧	6億2,900万円	
・がけ崩れ対策の増額(県内4箇所)	1億2,186万円	
◆放射能対策		
・緊急時避難準備区域内の都市公園の除染	2億5,000万円	P.4
・下水汚泥を保管する施設の設置や管理等(下水道特別会計)	12億2,210万円	

被災者の生活再建に向けた住まいづくりを支援します

事業の目的

被災者が良質で低価格な木造住宅をスピーディに取得できるよう、県内の林業、製材業、工務店、設計事務所等が連携した「ふくしまらしい住まいづくり」を支援します。

事業の概要

①福島県独自の住宅供給システムの構築

県内の林業・製材業・工務店・設計事務所等が連携し、材料調達から設計・施工まで一元管理することにより、良質な住宅を低価格でスピーディに供給できるシステムをつくります。

②モデル住宅プランの作成

低価格で高齢者にやさしい、省エネルギー性や長寿命化にも配慮した具体的なモデル住宅プランをいくつか作成します。

被災者が良質で低価格な木造住宅をスピーディに取得！

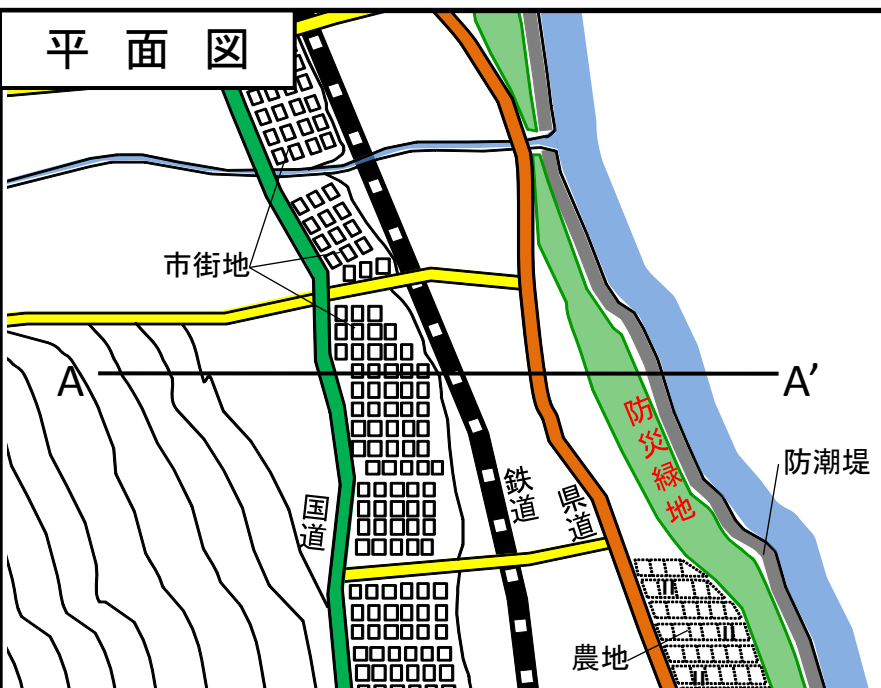
県内企業連携により建設した
木造住宅の事例



防災緑地の計画のためのガイドラインを策定します。

事業の概要

東日本大震災の津波被災地における防災緑地の配置方針や断面構成（規模、構造等）について、学識者等からなる委員会で検討し、防災緑地計画のガイドラインを策定します。



○防災緑地とは？

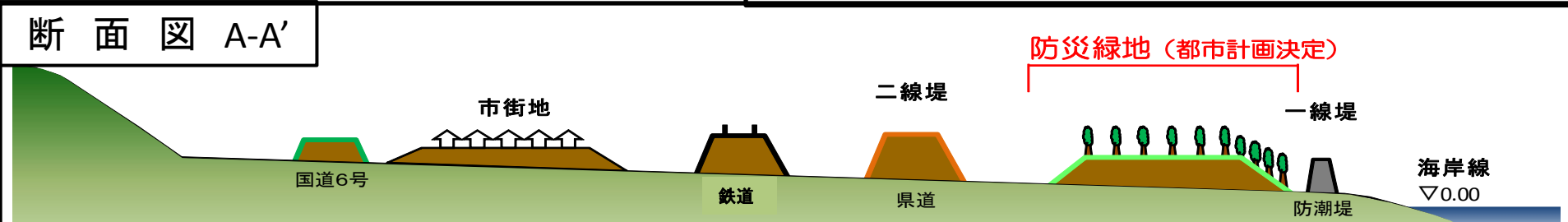
防災緑地とは、津波軽減効果を有する緑地です。
市街地の安全・安心を確保するため、海岸堤防や二線堤の機能を有する道路・鉄道等とともに「多重防御」による「津波防災まちづくり」を推進する施設です。

○防災緑地の役割

- (津波発生時)
- ・津波エネルギーの低減
 - ・漂流物の進入防止
 - ⇒ **津波の威力を軽減**
- (平常時)
- ・防砂・防風林の機能
 - ・海岸域における緑豊かな景観の保全
 - ・散策など自然とのふれあいの場



夏井海岸(いわき市)



東日本大震災による被災箇所の災害復旧を行います

事業の概要

1 港湾・漁港施設の復旧

津波により被災した港湾施設や漁港施設を復旧し、港湾や漁港の機能回復を図ります。



◇港湾施設の復旧

相馬港：県営2号上屋

相馬・小名浜各港の上屋などの港湾施設の災害復旧を行い、港湾機能の回復を図ります。

◇漁港施設の復旧

久之浜漁港：野積場

野積場等の漁港施設や駐車場などの漁港環境施設の災害復旧を行い、漁港機能の回復を図ります。



2 がけ崩れ対策

市町村が実施するがけ崩れ対策事業に対し、予算措置を行います。

◇災害関連地域防災がけ崩れ対策事業



かみい

上井地区(中島村松崎)

斜面崩壊などにより、人家へ被害をおよぼすおそれのある場合、がけ地対策工事を実施する市町村へ補助金を交付します。

都市公園や下水汚泥の放射能対策を行います

事業の概要

1 緊急時避難準備区域の都市公園等の除染

緊急時避難準備区域の解除に伴い、区域内の都市公園等の表土改善等を行います。また、市町村が実施する公園における表土改善等を支援します。

◇県営東ヶ丘公園(南相馬市)の除染



1. 2 μ Sv/h(7.21測定)

あそびの広場



1. 5 μ Sv/h(7.20測定)

芝生広場

◇市町村が実施する緊急時避難準備区域内の都市公園等の除染

毎時1マイクロシーベルト以上の箇所における線量低減の対策経費の一部を支援します。
(補助率1/2)



除染状況のイメージ

高田公園(南相馬市) 等

2 下水汚泥の放射能対策

スラグ(汚泥を溶融したもの)の封入・保管施設や汚泥を保管するための管理用テントの増設、管理を行うなど、下水汚泥の放射能対策を実施します。

◇汚泥保管テントの設置状況 (県北浄化センター)



テント内部



脱水汚泥は大型土のう袋に入れ、臭気対策のためテント内に保管しています。今後も日々発生する汚泥の量にあわせて、テントの増設等を実施します。